

Service News 【サービス・ニュース】

「相互貸借サービス」
一時停止のお知らせ

2018年3月に実施する図書館システムのリプレイスに伴い、他自治体の図書館、大学図書館、専門図書館、国立国会図書館からの取寄せサービスを一時停止いたします。

■ 受付停止期間：
2018年1月4日(木)～3月13日(火)

■ 対象館：千代田区立図書館 全館
詳しくはスタッフへお尋ねください。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

「英語絵本の読み聞かせに学ぶ
『伝わる英語』」

開催日：10月27日(金)
講師：横溝 美由紀
(株)英語ソムリエアカデミー代表講師

受け手の英語スキルに依存しない、動作や表情を豊かに使うなど、英語でのコミュニケーションにおいて大切な事を具体的に伝授していただきました。大人になつてから英語を学びなおし、「伝わらないもどかしさ」と「伝わる喜び」を得て、生まれ直したような気持ちだつたという横溝講師。これから英語を学ぼうとする参加者からは、前向きな気持ちになれたとの声が寄せられました。

「折紙の科学と美学
『折り紙からORIGAMIへ』」

開催日：11月1日(水)
講師：三谷 純
(筑波大学大学院システム情報系情報工学科教授)

子供の遊びと考えられていた折り紙は、今ではコンピュータを用いて展開図を作成するComputational Origamiへと進化しています。今回の講座では、折り紙を文化、アート、数学という異なる視点から捉え、これまでの歴史を紐解きながら、講師が取り組んでいる研究の紹介や建築・医療など幅広い分野への技術の応用例をわかりやすくお話しいただきました。折り紙の世界の奥深さに驚かされると同時に、今後の可能性を大いに感じる講座となりました。

3F グリーンゾーン
【哲学・歴史・自然科学・技術工学】の本を集めたゾーン

読書再考・再興・最高
～2018/2/16(金)

読書離れ・活字離れが指摘されている今だからこそ、改めて「読書」というテーマをもとに多角的な視点で本を集め展示しました。近年、流行している「SNS映え」を意識した本、様々な傾向の読書提案本やブックガイドなど7項目に分けています。また、読書に関するアンケートも行っています。こちららぜひご参加ください。



12月の展示情報

- 2F パープルゾーン** 「東京を描く」(～2018/1/12)
東京は、江戸以来の伝統的な文化の継承だけでなく、新しい文学の発信地としての役割も果たしてきました。今回は、東京出身の作家の作品や、東京を舞台とした作品を中心に、時代と共に変化する文学シーンの変遷をたどります。
- 2F ホール** 障害者週間 関連展示(～12/17)
毎年12月3日から9日までの一週間は、内閣府の定める障害者週間です。当館で行っている障害者サービスについて揭示し、あわせて2018年2月3日に開催される「バリアフリー映画会」の詳細をお知らせします。
- 3F ブルーゾーン** 「デザイン考」(～12/15)
日常生活で目にする、ポスターや雑誌の広告、商品のパッケージなどにはすべてグラフィックデザインが施されています。そんなグラフィックデザインにまつわる資料を紹介します。

From Chiyoda Public Library 【千代田区立図書館からのお知らせ】

千代田図書館 企画展示

発電所を宇宙につくる

～エネルギー問題に挑む宇宙科学の最前線～

各国で、宇宙から地上へエネルギーを送る太陽発電衛星(SPS)の研究開発が進められているなか、日本はその最先端で世界をリードし、今世紀半ばの実用化を目指しています。この展示では、太陽発電衛星についてパネルで紹介するとともに、宇宙・科学・エネルギーに関する図書を出しします。

● 会期：開催中～2018年1月27日(土)
● 場所：千代田図書館9階 展示ウォールほか

「太陽発電衛星の構想図」©JAXA

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

予告 【日比谷図書文化館特別展】
文化庁新進芸術家海外研修制度の成果

DOMANI・明日展 PLUS×日比谷図書文化館

本という樹、 図書館という森

Artists meet Books

- 日比谷図書文化館では開館以来、「本」をテーマにした展覧会を多く開催してきましたが、今回は文化庁との共催により、文化庁「新進芸術家海外研修制度」で海外に滞在した経験者6名とゲスト作家1名による「本・読書・図書館」へのアプローチを紹介する、初めての現代美術展「DOMANI・明日展PLUS」を開催します。絵画、インスタレーション、アニメーションといった様々なジャンルの作品を集め、読書を楽しむように美術作品の楽しさと出会う、または、美術作品を通して新たな本と出会う——そのような体験と感動の場をお届けします。
- 出展作家
- 若林 奮 Isamu Wakabayashi (わかばやし いさむ 彫刻、ドローイング 1973年・パリ派遣)
 - 小林 孝巨 Takanobu Kobayashi (こばやし たかのぶ 絵画 1996年・バンコク派遣)
 - 寺崎 百合子 Yuriko Terazaki (てらざき ゆりこ ドローイング 1998年・オックスフォード派遣)
 - 宮永 愛子 Aiko Miyayagi (みやなが あいこ 現代美術 2007年・エディンバラ派遣)
 - 折笠 良 Ryo Oriaka (おりかさ りょう アニメーション 2015年・モントリオール派遣)
 - 蓮沼 昌宏 Masahiro Hasunuma (はすぬま まさひろ 現代美術 2016年・フランクフルト派遣)
 - ゲスト作家 藤本 由紀夫 Yukio Fujimoto (ふじもと ゆきお 現代美術) ※図書フロアでの展示

● 会期
2017年12月14日(木)～2018年2月18日(日)
※休館日12月18日(月)、12月29日(金)～1月3日(水)、1月15日(月)
● 観覧時間：平日10:00～20:00、土曜10:00～19:00、日祝・12月28日(木)10:00～17:00(入室は閉室の30分前まで) ● 会場：千代田区立日比谷図書文化館1階特別展示室 ● 観覧料：一般300円、大学・高校生200円千代田区民・中学生以下、障害者手帳・指定難病受給者証をお持ちの方および付き添いの方1名は無料 ※住所が確認できるもの、学生証、障害者手帳をお持ちください。
● 主催：文化庁、千代田区立日比谷図書文化館 ● 協力：アート・ベンチャー・オフィスショウ

関連講座

書物/アートという装置、読書という体験

三人のアーティストが、今回の展示や制作に関する対話を通じて、情報伝達が変わる現代における「読書」を考えます。

〈出演〉藤本 由紀夫(現代美術家)、折笠 良(アニメーション作家)、蓮沼 昌宏(現代美術家)

■ 日時：1月7日(日)14:00～15:30(13:30開場) ■ 会場：地下1階日比谷コンベンションホール(大ホール)
■ 定員：180名(事前申込順、定員になり次第締切) ■ 参加費：無料

Artist Talk Vol.1
若林奮 1973年在外研修 旧石器時代洞窟遺跡を巡る

〈出演〉淀井 彩子(画家、若林奮夫人)、水沢 勉(神奈川県立近代美術館館長)
■ 日時：1月21日(日)14:00～15:30(13:30開場) ■ 会場：4階スタジオプラス(小ホール)

Artist Talk Vol.2
図書館、本の記憶 ーイギリスでの経験を通じて

〈出演〉寺崎 百合子(画家)、宮永 愛子(現代美術家)
■ 日時：2月4日(日)14:00～15:30(13:30開場) ■ 会場：4階スタジオプラス(小ホール)
Vol.1・2「各回共通」 ■ 定員：60名(事前申込順・定員になり次第締切) ■ 参加費：無料

上記の申込方法：来館(1階受付)、電話(03-3502-3340)、Eメール(college@hibiyal.jp) いずれかにて①講座名、②お名前(ふりがな)、③電話番号をご連絡ください。

calendar 開館時間：平日10時～22時 ■ 土曜10時～19時 ■ 日祝10時～17時 ■ 休館日

2017年 12月							2018年 1月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1 2		1	2	3	4	5	6
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30	31			
31													

access

〔都営地下鉄〕
● 三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分
〔東京メトロ〕
● 丸の内線
● 日比谷線
● 「霞ヶ関駅」B2出口徒歩3分
● 千代田線
● 「新橋駅」徒歩10分
JR「新橋駅」徒歩10分
※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

お問合せ先：千代田区立日比谷図書文化館 〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL:施設代表 03-3502-3340 図書総合カウンター 03-3502-3343 URL:http://hibiyal.jp

12・1月の講座

「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

12/10 (日) 世界の音楽 2017-2018 二胡の響きⅡ

講師：劉 継紅(東京音楽大学大学院音楽研究科客員教授)

中国を代表する民族楽器、二胡。人間の声に似ているとも言われる哀愁を帯びた音色は日本人の心を捉えてはなしません。今回は、本格的な二胡の名曲(月夜・一枝花、他)をお届けします。また、二胡の仲間である京胡、椰胡、高胡、中胡などを紹介し、その共通点と相違点について解説します。2本の弦から紡ぎ出される無限の世界をお楽しみください。(協力:東京音楽大学民族音楽研究所)



- 日時:12月10日(日)14:00～15:30(13:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■ 参加費:1000円

12/12 (火) 世論調査の仕組みと課題

講師：渡邊 久哲(上智大学文学部新聞学教授)

新聞各紙やテレビ各局が毎月、さまざまなテーマについて国民の声を聞く世論調査。この世論調査はいつ頃から行われているのでしょうか。そしてその目的、測定方法、課題や問題点、私たちはどう受け止めるべきかなど、世論調査にまつわる様々な疑問にお答えいたします。



- 日時:12月12日(火)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■ 参加費:1000円

12/14 (木) 永江朗・いとうせいこうが語る 本から読み解く近代史

～日本の時代をつくった本たち～

講師：永江 朗(フリーライター)
いとうせいこう(作家・クリエイター)

本や雑誌は、その時代に生きる人々の様子を鮮明に映し出す鏡でもあります。明治のベストセラー『学問のすゝめ』が出版されてから145年経った今、これまでに出版された本を振り返りながら、日本の近代史と当時の人々の思想や文化、その本が読まれた背景についてご紹介します。



永江朗 いとうせいこう

- 日時:12月14日(木)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■ 参加費:1000円(千代田区民500円)

●グレートブックス・セミナー Great Books Seminar

講師：犬塚 潤一郎(実践女子大学教授)

12/14 (木) オリエンテーション テーマで読み語り合う古典 グレートブックス・セミナー

古典(グレートブックス)をテーマに即して読み、参加者同士が語り合いながら、何が本当に大切なことなのかを考えてゆく「グレートブックス・セミナー」。その歴史と仕組み、セミナーの進め方などについてお話しした上で、実際に古典を読みながら短いセミナーを行います。



- 日時:12月14日(木)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■ 参加費:500円

1/11 (木) 他 ワークショップ(全3回) 古典に読む『正義』と私たちの社会

『正義』をテーマとして、様々な思想家たちが著した古典から一部を抜粋して読み解きながらお互いに語り合います。回が進むごとに考えが深まってゆく楽しみがあります。

- ・第1回:1月11日(木)『プラトン、アリストテレス』
- ・第2回:1月18日(木)『トマス・アキナス』
- ・第3回:1月25日(木)『ホッブス、パスカル』

- (全3回共通)
- 時間:19:00～20:30(18:30開場)
- 会場:4階 セミナールーム A(会議室) ■ 定員:24名
- 参加費:1500円(全3回分) ※各回参加は受け付けておりません。(主催:一般財団法人 森永エンゼル財団、共催:日比谷図書文化館)

12/16 (土) ピースビレッジ 第58回 編集という視点を意識できれば、人生をもっと面白くできる

講師：滝本 洋平(編集者/株式会社A-Works取締役)

良いと思うものを取り入れたり力を借りたり、より良いものを生み出すために、別のものをくっつけたり、楽しみを生み出すために、順番を逆転させたり。「編集という視点を意識できれば、人生をもっと面白くできる」私の経験などを交えながらお話しできればと考えております。(主催:NPO法人 世界連邦21世紀フォーラム、共催:日比谷図書文化館)



- 日時:12月16日(土)14:00～16:30(13:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■ 定員:60名 ■ 参加費:3000円

12/19 (火) HIBIYAイノベーション・キャンパス 2017【ワークショップ初級編】イノベティブに問題を捉えるアプローチ

講師：鳥谷 真佐子(慶應義塾大学大学院SDM研究科 特任講師、博士(医学))
広瀬 毅(慶應義塾大学大学院SDM研究科 特任助教)

問題をシステムとして捉え可視化・構造化する「システム思考」。多様性を活かし、人間中心で物事を設計する「デザイン思考」。この2つの思考を組み合わせ、アイデアを思い付くではなく、考え付くためのイノベティブ思考の基礎的なワークとしてイノベティブな問題の捉え方を中心に学びます。(協力:慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 附属SDM研究所イノベティブデザインセンター) ※2017年10月17日(火)、11月11日(土)開催の【ワークショップ初級編】と同じ内容です。



- 日時:12月19日(火)19:00～21:00(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:40名 ■ 参加費:2000円

1/12 (金) 千代田区民講座 E.T.(地球外生命)を探せ!

講師：林 勝彦(元NHKプロデューサー、サイエンス映像学会会長)

1959年にJ・コッコーニ博士らが、英国の科学誌「Nature」で、地球外生命について初めて言及しました。以後、「バイキング計画」や「SETI計画」など数々の探査が行われ、現在では、木星の衛星「エウロパ」や土星の衛星「エンケラドゥス」に生命が存在する可能性が高いと有望視されています。E.T.探査の歴史を映像で、楽しく解説いたします。(主催:NPO法人 神田雑学大学、共催:日比谷図書文化館)



- 日時:1月12日(金)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■ 定員:60名 ■ 参加費:無料 ※12月5日(火)から千代田区民受付開始。区民以外は12月12日(火)から受付開始。

1/20 (土) ピースビレッジ 第59回 地方と東京の2拠点生活で、あたらしい自分に出会う

講師：小久保 よしの(フリーランス編集者・ライター)

地方と都会に拠点をもち、往復しながら暮らす「2拠点生活」。この数年、30代を中心に注目を集めている「移住」とは異なる「2拠点生活」という、ライフスタイルのメリットや心得などを、講師の体験を含めてお話しします。

(主催:NPO法人 世界連邦21世紀フォーラム、共催:日比谷図書文化館)



- 日時:1月20日(土)14:00～16:30(13:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■ 定員:60名 ■ 参加費:3000円

ポモージュ広報室より

2017年の日々も残り少なくなり、新しい年の足音がすぐそこまで聞こえてきました。2017年は皆さまにとってどのような1年だったでしょうか。日比谷図書文化館は、本に関する情報だけではなく江戸・東京の歴史や文化の紹介、特別展、日比谷カレッジによるスキルやセンスアップにつながる講座

年末年始休暇のお知らせ

2017年12月29日(金)～2018年1月3日(水)

1/24 (水) これだけは知っておきたいインド経済 インド経済の歩みを辿る:巨象の実像と虚像

講師：佐藤 創(ジェトロ・アジア経済研究所地域研究センター主任研究員)

経済成長著しく、人口も世界一となる見込みであるインドが、世界経済をけん引する時代が到来するのだろうか。貧困やカースト問題が持続する一方で、IT産業の展開や急速に普及する自動車や携帯電話による生活の変化、深刻化する環境やエネルギー問題など、本講座ではインド経済の複雑な現状を考察します。



- 日時:1月24日(水)19:00～20:30(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■ 定員:60名 ■ 参加費:1000円

◆古文書塾てらこや 体験講座◆

「古文書塾てらこや」は古文書専門塾として、初心者から経験者まで楽しみながら学習を進めています。1月期の開講に合わせ、「体験講座」をご用意いたしました。まずはお試しください。



	講座名	曜日・時間	体験講座実施日
特別講座 90分	自分の花押(かおう)を持ってみませんか	(火)13:30～	12/26
	大久保利通の手紙を読む	(火)19:00～	12/26
	浮世絵を読む【紅色クラス】【藍色クラス】※合同開催	(水)10:30～	12/20
	江戸美人を探る—江戸のファッション事情	(水)13:30～	12/13
	商家文書を読みとく—三井越後屋の奉公人	(水)19:00～	12/20
	くずし字で読み解く茶の湯の伝書	(木)13:30～	12/21
	江戸を楽しむ—続・江戸の寺社あれこれ	(木)18:30～	12/21
	絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(入門編)	(土)10:30～	12/16

- 参加費:各回1000円 ■ 定員:各講座23名(事前申込順)
- 会場:4階セミナールーム(会議室) ■ 資料請求・体験講座のお問合せ:電話(03-3502-3340) 日比谷図書文化館 古文書塾てらこや担当迄

特別研究室 ミニ通信

開催中
～12月28日(木)まで
■特別研究室企画展示 内田嘉吉文庫所蔵資料に見る 後藤新平と都市計画—科学的都市経営の展開—



『都市公論』第2巻 第7号 表紙(都市研究会/1918年)

1917年10月、後藤新平が会長、内田嘉吉が副会長を務めた「都市研究会」が発足しました。それから100年にあたり、内田嘉吉文庫所蔵の後藤新平と都市計画に関連する資料を展示しています。都市研究会発行の『都市公論』をはじめ、東京都市計画・帝都復興関係資料、後藤の都市計画の基礎となった台湾・満州の都市インフラ整備関係資料などから、後藤による「科学的都市経営」の展開を紹介しています。また、市政専門図書館、後藤新平記念館所蔵の、後藤新平と内田嘉吉の関係性がうかがえる画像資料もあわせて展示しています。



左)日比谷公会堂(『大東京百景 三十五区』)

右)大連ヤマトホテル(大正五年)(南満州鉄道株式会社編『南満州鉄道株式会社十年史』/1919年)

など今年も多くのことに取り組んで参りました。来年も多くの皆さまにご利用いただける様々な事にチャレンジしていきます。2017年の最終日は12月28日(木)の22時まで開館しています。各フロアでの展示をご覧いただくと共に、年末年始に読む本を探しに是非いらしてください。

2017年12月28日(木)は22時まで、2018年1月4日(木)は10時から開館します。